

新たな門出 令和3年積丹町成人式



▲記念品贈呈（窪内さん）



▲誓いのことば（長谷川さんと鈴木さん）



1月10日、令和3年積丹町成人式が総合文化センターで挙行され、華やかな振り袖やスーツ姿の新成人8人（出席7人）の新たな門出を祝いました。

新成人は、家族や来賓に拍手で迎えられながら入場し、一人ひとりの紹介の後、十河教育長の式辞、松井町長と山本議長からそれぞれ励ましの言葉を受けました。

新成人を代表して窪内渉^{わたる}さん（美国町・写真左上）に記念品が贈られ、長谷川颯^{はつら}さん（美国町）と鈴木琴乃^{このの}さん（美国町・写真右上）が、「全国で、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、成人式を延期する市町村が多い中、この日を迎えられたのは、温かく育み、支えてくれた両親や家族をはじめ、ともに歩んできた友人、ご指導していただいた先生方や地域の皆様、これまで関わってくださったすべての方々のお陰であることに感謝し、これから成人として、いま一度自己を見つめ直し、これからの時代を担う、社会人の一人として、責任と義務を果たしていきます。」と力強く新成人の誓いを述べました。

また当日は、町女性団体連絡協議会（魚屋友子会長）から手づくりの「赤飯」が、陶芸サークル（土井知子会長）からは「茶碗」がプレゼントされました。

町内外でそれぞれの道を歩む新成人の皆さんのご活躍を期待しています。

「積丹若手漁業者グループ」に最高評価

”ウニが海藻を育てる“発表

北海道代表全国大会へ!!

1月15日に北海道が主催した「第66回全道青年・女性漁業者交流大会」が審査会場の札幌市（第1水産ビル）と道内各地をオンラインで結び開かれました。

この大会は、毎年札幌市内の会場に全道各地から多くの青年・女性漁業

関係者の代表が参加して、

日頃の活動実績を発表し、

その成果を全道に普及し

北海道水産業の振興に役立

てる伝統ある大会です。

今年も、コロナ禍の中

で、美国町の若手漁業者

小林強太さん（30才）が、

本町の二つのグループを

代表して積丹町役場会議

室からリモートによる事

例発表を行いました。

小林強太さん（美国町）発表

「ウニが海藻を育てる」

「美国・美しい海づくり協

議会（神哲治会長）」と「余

別・海HUGくみたい（澤

貴幸会長）」の両グループ

を代表して小林強太さんが、

「ウニが海藻を育てる」と題

して、ウニ殻を原料とした

肥料による藻場再生「ウニ

と藻場の循環型再生産シス



▲小林強太さん（美国町）

テム」の実践活動を発表しました。

ウニ殻肥料による藻場再生で地方創生

ウニ漁業で排出される殻

の有効活用を目的に、積

丹町の地方創生のひとつ

として平成27年度から実施

した「漁業系廃棄物資源利

活用推進事業」の成果を

基に、本町の漁業者グルー

プは、ウニ殻と天然ゴム

を原料とした海藻への肥

料を作製して、磯焼け漁

場で「ホソメコンブの林」

を再生させることに成功

しました。さらに、このコンブの林と肥料を入れていない対照区で採取したウニの身の重量と品質を比較して藻場造成の経済効果の検証も試みました。

全国大会の道代表へ

今回は、全道各地から

選ばれた漁業者グループ

9団体があり、本町の小

林強太さんの発表は、審

査委員から『藻場再生活

動に加えモニタリングを

行いながら漁業生産の向

上に繋がる活動を行った

こと、また、メディアを

通じた広報活動や、観光

客の集客を通して6次産

業化も推進、さらに、循

環型社会の形成に向けて

他地域への展開も期待で

きる取組みとして、本道

の漁業と漁村の振興に大

いに期待される。』と高く

評価されました。審査の

結果は、本年3月2日、

3日に東京都で開催される全国漁業協同組合連合会主催『第26回全国青年・女性漁業者交流大会』へ本道代表3グループの1つとして推薦が決定しました。本町両グループの新しい発見の努力の結果とその成果は、積丹町の漁業の将来にとって、明るい材料の一つで、町の誇りでもあります。

